

令和8年度 交通安全県民運動

年末の交通事故防止運動実施要領

運動の目的

年末に向けて飲酒の機会が増えるこの時期は、飲酒運転による交通事故や、時節的な慌ただしさや帰省・旅行による交通量の増加などに起因する重大事故の発生が懸念されます。

このため、県民一人一人に飲酒運転の根絶を訴えるとともに、前方注意等基本的な安全運転や道路横断時の安全確認の徹底等安全行動の実践、冬道対策や夕暮れ時の道路状況に応じた安全運転の実践を呼びかけて、年末の交通事故防止を図ります。

運動の期間

令和8年 12月14日（月）から12月23日（水）までの10日間
一斉行動日 12月14日（月）

運動の重点

- ① 飲酒運転の根絶
- ② 前方注視の徹底と歩行者の安全確保
- ③ 夕暮れ時の交通事故防止



令和7年度 JA 共済主催
交通安全ポスターコンクール入賞作品
松田 実さんの作品（益田市立益田中学校1年）



令和7年度島根県交通安全協会主催
交通安全ポスターコンクール入賞作品
今井 颯大さんの作品（浜田市立三隅中学校1年）

～①っかりと ②もるルールで ③がう安全～

主唱 島根県交通安全対策協議会

運動の重点	推 進 事 項
① 飲酒運転の根絶	◎ 運転者（自転車利用者を含む） ○ 飲酒運転は絶対にしない。 ○ 飲酒した翌日もアルコールの影響※¹があることを認識し、アルコール検査器等を使用して二日酔いでの飲酒運転を防止する。 ◎ 関係機関・団体・地域・家庭・職場 ○ 「飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない」を徹底する。 ○ 運転者にお酒を提供すること、飲酒運転をするおそれのある者に車を貸すこと、飲酒運転の車に同乗することは絶対にしない。 ○ 飲酒会合時には、ハンドルキーパー運動※²を実践し、飲酒運転根絶に向けた環境づくりを推進する。
② 前方注視の徹底と歩行者の安全確保	◎ 運転者 ○ 運転中は前をよく見て運転に集中し、特に交差点や横断歩道では、減速・徐行・一時停止して歩行者の有無を確認など、運転中の前方注視と安全確認、安全速度を徹底する。 ○ 帰省等での長距離運転は、天候や目的地までの路面状況を確認し、余裕のある計画を立てる。 ◎ 歩行者 - 道路を横断するときは、以下に努めること。 ・ 信号機や横断歩道のある場所で横断する ・ 斜め横断や車両の直前・直後の横断はしない ・ 「手上げ横断」など、横断する意思表示をする ・ 横断中も左右の安全確認をする ◎ 高齢者 - 加齢に伴う身体機能の変化を自覚し、以下に努めること。 ・ 雨の日や夜間は、長距離の運転を控える ・ 歩行速度の低下を認識し、車両が近づいているときは横断しない ◎ 関係機関・団体・地域・職場 ○ 運転者（自転車利用者含む）へは、歩行者への思いやり運転の励行を呼びかける。 ○ 運転者へは前方注視や交差点等での安全確認、歩行者へは道路横断時の安全確認の徹底など、基本的な安全運転、安全行動の実践を促す取組を推進する。 ○ 高齢者に対し、加齢に伴う身体機能の変化を自覚させ、安全行動へと繋がる体験型交通安全教育を実施する。
③ 夕暮れ時の交通事故防止	◎ 自動車運転者 ○ 早めのライト点灯とこまめなハイビーム（上向きライト）への切り替えを心がけ、スピードダウンを徹底する。 ※12月のライト点灯目安時間～午後4時30分（日没の30分前） ○ 積雪時や路面凍結に備え、冬用タイヤの交換、チェーン等の携行のほか、急ハンドル・急ブレーキ・急加速などの『急』のつく運転をしない。 ◎ 自転車利用者 ○ 乗車用ヘルメットを着用する。 ○ 早めのライト点灯と反射材の使用に努める。 ○ 自転車安全利用五則を守るとともに運転中の交通事故による損害を賠償するための保険等に参加する。 ◎ 歩行者 ○ 早朝・夜間・夕暮れ時に外出するときには、明るい色の服装を心がけ、反射材とライトの使用に努める。 ◎ 関係機関・団体・地域・職場 ○ 反射材の普及と着用を推進する。

※1 アルコールの影響

「酒は、ひと眠りすれば体から抜ける。」と勘違いしていませんか？

種類	ビール	焼酎	チューハイ	日本酒	ワイン	ウイスキー
数量	500 ml	100 ml	350 ml	180 ml	200 ml	60 ml
飲酒量の目安	中ジョッキ 1杯	コップ1杯 (水割り5:5)	350ml缶 1本	1合	ワイングラス 2杯	ダブル 1杯

この数量で…

アルコールを分解
するのに**5時間以上**
かかります！！

2倍 飲めば10時間！
3倍 飲めば15時間！！

（注） アルコールの分解速度は、年齢、性別、
体格、体質等による個人差が大きく、ある
研究によれば、速い人と遅い人の間には、
2～3倍の差があるといわれています。

※2 ハンドルキーパー運動

仲間と飲食店などへ自動車で行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、飲酒後の仲間を自宅まで送るという飲酒運転を根絶するための運動です。

